

そ っ た く
啐 啄

大津市立瀬田中学校 校長 奥村 公英

新年度を迎えて

校庭をピンク色に染めた桜も目に鮮やかな新緑へと衣替えを始めています。4月8日の朝8時に新しいクラスが掲示され、生徒の歓声が響いていました。その後の新任式・始業式は昨年度と同じく、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、校内テレビ放送で実施しました。そして、午後からは第75回入学式を挙行し、今年度、瀬田中学校は296名の新入生を迎え、全校生徒909名、32クラスでスタートすることになりました。

入学式も大津市教育委員会の通知に基づき、昨年度同様、規模を縮小して開催することとなりました。参加者を新入生と保護者の方々、教職員、生徒会執行部だけに限りました。また、入場前には健康観察と消毒をしてもらい、会場となる体育館の窓やドアを開放し、座席もできるだけ間隔を取り、時間も短縮するよう心がけました。

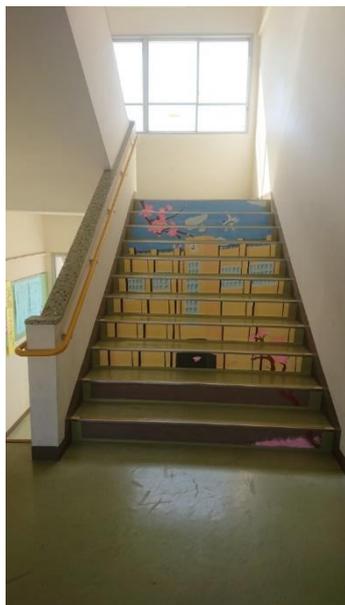
新入生の皆さんには、本校での学びを通じて、校訓である「自主・自律」の精神を育み、日々変化していく社会の中で心豊かにたくましく生き抜くための土台づくりをしっかりと行ってほしいことを伝えました。そして、瀬田中学校では「健康」「感謝」「誇り」の三つのキーワードを大切にしており、新入生には、心身の健康に留意し、常に人を思いやる優しい気持ちと感謝の心を忘れず、瀬田中学校の生徒としての誇りをもって、学習や様々な活動に取り組み、健やかに成長してくれることを期待しています。

現在、新型コロナウイルス感染症は第4波が訪れ、感染力が強く重症化しやすいといわれる変異株が関西を中心に拡大し、まん延防止等重点措置が適用される地域も増えています。今一度、新型コロナ感染症の拡大防止に向けて、気を引き締め、マスクの着用やソーシャル・ディスタンスを保つこと、手洗い・換気といった従来から言われている基本的なことをしっかりやることが大切です。

このように先行き不透明な中、生徒のみなさん、保護者の方々、地域の方々、教職員も不安な気持ちを抱えての新年度のスタートとなりましたが、その一方で新しい学年、学級になり、生徒たちは新たな気持ちで学校生活のスタートを切ってくれたものと思います。その気持ちを大切に、この状況下、「感染症の予防をしながら、できることをやっ払いこう」との精神を持ち、本年度も保護者の方々や地域の方々、各関係機関の御支援を得ながら、生徒の皆さんとともに伝統と歴史ある瀬田中学校の歴史に新たな1ページを刻んでいきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。



階段アート ～美しく生まれ変わった階段～



3年生のAce（学年リーダー会）の皆さんが
新入生を歓迎する思いを込めて、普通棟の3階か
ら4階に上がる東西両階段に階段アートを完成
させてくれました。どちらも瀬田中学校の校舎を
モチーフにして、この時期にふさわしい図柄で構
成されています。校舎内の雰囲気が一気に明るく
なりました。

新型コロナウイルス感染症拡大により、様々な活動が制
限される中、3年生のACEの皆さんが新入生へ
の歓迎の思いを伝えるにはどうすればよいかを考
え、階段アートという手法を取り入れてくれました。
これも「できることをやっぴいこう」の精神が生か
されたものだと思います。3年生のAceの皆さん
ありがとうございます。今後の階段アートも期待
しています。



新しい特別支援学級の教室



今年度、本校の特別支援学級は昨年度から2学級増えて、6学級になりました。教室がないこ
とから、集会室を改修し、特別支援学級の教室と給食中間配膳室、倉庫となりました。

従来、生徒会室として使用してきた教室も普通教室に転用することになったことから、倉庫に
は生徒会で使用する様々なものを収納しています。

今後も瀬田中学校は生徒数、学級数ともに増加する見込みであり、教室の確保も喫緊の課題と
なっています。



特別支援学級（14組）



給食中間配膳室



◇「啐啄」の意味について

「啐」は鶏の卵がかえる時、殻の中で雛がつつく音、「啄」は母鶏が殻を外からつつき
破ることで、広辞苑によれば、①「禅宗では師家（しけ）と弟子とのはたらきが合致
すること。」②「逃（のが）したらまたと得がたい好機」を意味します。学校・家庭・地域が協力
して成長する子どもたちを適時適切に支援できればとの思いのもと、学校通信を「啐啄」と名付
けさせていただいています。

